

テーマ:「山形県創業支援センター(仮称)」を中心とした多様な人材の交流促進に向けた広報」

(関係部局:◎産労、総務、みらい、環境、子育て、健福、観光、農林、県土、教育、総支、東京)

○目的

様々な分野の人々に、創業支援センター(仮称)の役割・利用価値について認知してもらい、その活用を促進することで、起業・創業の増加、新事業創出、関係人口の拡大等を図る



取組項目	目標 (定量的目標指標)	主要ターゲット (エリア・訴求対象)	ポイント (情報発信のタイミング、媒体、手法・デザインの斬新性等)	他部局との連携に 当たっての工夫 (手法等)	結果・成果(アウトプット・アウトカム指標)、 評価・課題等
施設利用による創業相談、ワークスペースの提供	利用者数(R3年度) 200人	・県内に居住またはビジネス、旅行等で本県を往来する方	セミナー、創業相談会等の開催による関心者へのアプローチ	様々なカテゴリのイベントの会場として利用してもらうことで周知・広報を兼ねる	主催だけではなく他部局、他機関のイベント会場として利用いただくことができ目標を上回る利用者となった 利用者数 2,000人
SNSを活用し幅広い世代へのアプローチ	SNSフォロワー数 400	・県外のコワーキングスペース等を利用している方 ・様々な分野・所属で就業・就学している方	潜在的利用者、関心者へアプローチするため利用者目線での情報発信を行う		利用者数の増加のために効果的な広報ができたと考えられる。定期的な発信を継続 フォロワー数 243
市町村、商工団体との連携	広報紙掲載回数 40回				今後掲載による反響、効果分析し効果的な広報の手段を検討 掲載数 20

○総括 全国でも低位に推移する本県の開業率向上のため、R3.11にオープンした「スタートアップステーション・ジョージ山形」の開設の広報として取組を行い、主催だけでなく他部局、他機関で主催するイベント等での利用のほか、SNSを使った情報発信を定期的に行った結果、目標を大きく上回る利用者数となった。今後も、関係部局・関係団体との連携を一層強化し、潜在的利用者へ届くような情報発信を実施する。